

「茶漉」で見る日常会話

ASPECTS OF DAILY CONVERSATION AS SEEN THROUGH “CHAKOSHI”

深田淳（パデュー大学） 大曾美恵子（姫路獨協大学）

Atsushi Fukada, Purdue University Mieko Ohso, Himeji Dokkyo University

概 要

本発表では、日常会話コーパスを使い、受身形、使役形、程度の表現の使用に関して以下のように明らかになった知見を報告する。

受身形は使役形の5倍以上多く使われている。日常会話においてもっとも多く受身形で現れる動詞は「言う」である。使役形のテ形は、授受動詞が後続する場合が多い。「五段動詞＋せられる」という使役受身形は一例もなく、すべて「五段動詞＋される」という形が使われている。程度の表現では「すごい、すごく」の使用が目立つ。「すごい」も「すごく」と同じぐらい副詞として使われている。一方、「大変、とても、非常に」の使用は少ないことが分かった。

キーワード: 日常会話コーパス、茶漉、受身形、使役形、程度表現

本発表では、自然会話コーパスである「名大会話コーパス」を対象に、コロケーション情報抽出ツール「茶漉」を使って得られた情報をもとに、受身形、使役形、程度の表現の使用に関して明らかになった知見を報告する。

「名大会話コーパス」は平成13年度～15年度に科学研究費補助金による研究「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」の一環として構築された、約100時間の雑談を収録したコーパスである。今回使用したのはその中の約60時間分である。「茶漉」は2002年のCASTEL/Jで発表したコロケーション抽出ツールに改良を加えたもので、正規表現などの知識がなくてもかなり複雑な検索を簡便、かつ高速に行うことができるツールである。なお『茶漉』および名大会話コーパスは以下のURLにおいて公開している。

<http://tell.fll.purdue.edu/chakoshipub>

まず、受身形の使用に関しては以下の知見が得られた。

受身形は、1531例ほど使われている。これは、「れる、られる」の用例から尊敬、可能等の用例を除いたものである。尊敬か受身かは目視で確認したため、誤りが全くないとはいえない。つまり、受身は約1500例使われていると言ってよかろう。以下の表は、「れる」との間に茶漉が強いコロケーションを発見した語のリストである。

形態素	tスコア	MIスコア	コーパス頻度	スパン頻度	期待頻度
する	17.760	22.12	5374	346	15.6396
言う	23.846	262.17	751	573	2.1856
取る	6.448	197.70	73	42	0.2124
食べる	7.225	23.23	843	57	2.4533
怒る	6.061	276.39	46	37	0.1339
聞く	5.702	133.40	85	33	0.2474

受身と最も結びつきが強い動詞は「言う」で、tスコア 23.866、MIスコア 258.40 と、両者とも非常に高い。用例そのものも多く 573 例も出てきている。コーパス全体における「言う」の出現数は 751 なので、そのうち受身形で出現する割合は 76%ということになる。日常会話では、話し手が自分を主語の位置において、自らの経験を語る人が多いためであろう。ただ次の例 (3) のように一般的な情報を示すのに使われている場合もあるので、用法の詳細については、一つずつ確認する必要がある。動詞「聞く」と受身の結びつきが強いのも同じように自らが質問された経験を語る人が多いからであろう。次に「言われる」「聞かれる」の例をあげておく。

- 1) YS1 : フラフラ歩いてたでしようとか言われる。
- 2) NI1 : で、だらけてるとかって言われるし。
- 3) OY1 : 次はイギリスだって言われてるって。
- 4) KN1 : いちいち、こう、最初のころは大根とかあるって聞かれたし。

次に使役形に関して得られた知見を報告する。

使役形は使役受身も含めて 270 例見付かった。「動かす」「欠かす」などの他動詞も検索の結果に含まれるため、目視でそれらを除いた数である。先ず、受身に比べると、かなり少ないことが分かる。特に使役とのコロケーションに特徴がある動詞も見られない。

使役形の用法を見ていくと、「車を走らせる」「葉っぱを沈ませる」のように「人」に対する働きかけではなく、「物」に対する働きかけを表すものが 37 例あることが分かる。この場合は使役形が他動詞の代わりに使われていると考えられる。次にその例を示す。

- 5) TK1 : うん、クーラーボックスと牛乳パックで凍らせた氷があるもんで、それあればかなり、かなり冷えるよ。
- 6) WY1 : ...油揚げを分厚くして、何かあの、よく味をしませて油っこくしたみたいなの....

次に使役のテ形に続く動詞を調べた結果、助動詞的に用いられている授受動詞がくる場合が全体の 46% と非常に高いことがわかった。使役のテ形 82 例のうち、38 例に授受動詞が後

続している。特に「いただく、くれる、もらう」との結びつきが強い。次に例を挙げる。

- 7) TY 3 : もう簡単には親にはさせてくれない。
- 8) HM 3 : こっちがしゃべっている気にさせてくれる。
- 9) TY 2 : はい、じゃあ、やらせていただきます。
- 10) TM 2 : あとでちゃんとお手伝いさせてもらいますので。
- 11) AM 1 : え、実家でやらせてもらえるの？

また、使役受身形 38 例を調べた結果、「待たせられる」「歌わせられる」のように五段動詞の「一せられる」形は全く使われていないことが判明した。5 段動詞の使役受身形 26 例はすべて「待たされる」「歌わされる」のような「一される」形が使われており、その中には「出さされる」と 1 例だけだが、「さ」が連続する形も含まれている。次に例を挙げておく。

- 12) KR 1 : あの、立たされるのが嫌だったんです。
- 13) KM 2 : ていうか、買わされたっていうか。
- 14) AK 1 : こういうときはね、お祝いをするもんですって言ってね、一人 2000 円だか 3000 円出さされたの。

なお、動詞「する」と一段動詞の場合は勿論「させられる」が使われており、名大会話コーパスでは、前者が 9 例、後者が 3 例、現れている。

最後に「とても、非常に」など、程度を表す表現に関する検索結果を述べる。

会話では、「とても」が多く出てくるのではないかという予測は見事に覆された。調べたのは「すごい、すごく、大変、とても、非常に、超」の 6 語である。

まず、最も多く使われているのは「すごい」で、「すごい+形容詞/形容動詞語幹」で調べると 354 例現れた。「すごい+名詞一般」は 214 例であるから、副詞として使われている「すごい」の方が多いことになる。勿論、名詞が後続していても「すごい距離が長かった」「すごいイントネーション変なんだよ」のようにそれが修飾する形容詞が後ろに現れる場合もあるので、副詞としての「すごい」はもっと多いことになる。「すごく」は全部で 393 例現れている。ここから「すごくない」10 例を除くと 383 例になる。「すごい」と「すごく」がほぼ同じように程度を表す副詞として使われていることになる。

次に「大変」は 409 例出てくるが、程度を表しているのは次の 2 例のみで、後はすべて形容動詞として使われている。

- 15) TY 1 :私の祖母はね、大変熱心な浄土真宗のあれで、鹿児島に住んでたんですけど、.....
- 16) TY 1 :私の親戚がね、去年亡くなったんですけど、それはもう、えーと八十いくつの
大変高齢者の

そして上記の通り使用した人は同一人物である。

「とても、とっても」は 80 例現れたが、そのうち「とてもじゃない」「とてもできない」といった否定形の用法が 14 例を占めるため、程度を表す「とても、とっても」は 66 例ということになる。「すごい、すごく」に比べると数がずっと少ないのが分かる。次に例を挙げておく。

17) NH 1 : 日本はとても明るいじゃない。

18) MS 2 : でね、話がね、とってもね、あの、硬すぎるけど面白いの。

「非常に」は 30 例見付かった。これは文体、及び話の内容と関係するようである。30 例中 10 例は次の例のように明らかに丁寧体で使われている。

18) TK 3 : 非常に凝縮された文章ですからね、天声人語は。

19) KR 1 : 非常に怖かったんですね。

最後に「超」について報告する。「超」は 154 例見付かった。そのうち「超+形容詞/形容動詞語幹」が 84 例で、「超+一般名詞」が 19 例である。「超+一般名詞」には「超うめー」「超味が出てるよ」なども含まれており、程度表現でないのは「超音波」の 2 例に過ぎない。「超」が程度表現としてかなり頻繁に使われていることが分かる。次に、「超+動詞」の例も含めて例を挙げる。

20) IA 1 : 私、超混むと思うけど。

21) WA 1 : 上の人は超怖いね。

22) SE 2 : うちのお母さん、うざいって言うと超怒るんだけど。

23) TK 1 : 超一方的なんだね。

24) KM 3 : ねー、超初歩的な会話になるね。

25) AM 1 : 超最悪。

以上、受身形、使役形、程度の表現について日常会話を検索した結果得られた知見を報告した。日本語教育においては、文法項目、語彙項目の選択に実際の使用状況も反映させるべきではないかと考える。今後は利用可能な自然会話コーパスの量が増え、方言差、性差などに関して更に情報が得られ、日本語教育に活かされるようになることを望む。

引用文献

深田淳, 大曾美恵子他「日本語コーパスからコロケーション情報を抽出するソフトウェアシステム」*CASTEL/J 2002 PROCEEDINGS*, 37-40, 2002.